

2023年5月14日

日本循環器学会による循環器疾患実態調査(JROAD)に参加した医療機関に急性心膜炎で入院された患者様・ご家族様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などは行いません。また患者様・ご家族様が個人的に健康に関する新たな情報を得ることはありません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。

【対象となる方】2012年4月1日～2021年3月31日の間に日本循環器学会が実施する全国循環器疾患実態調査(JROAD)に参加した医療機関にて急性心膜炎の診断で入院された患者

(参加施設一覧：http://www.j-circ.or.jp/jittai_chosa/jittai_chosa_shisetsu_list.htm)

【研究課題名】

急性心膜炎の臨床像・治療法の実態調査と院内アウトカムおよび予後に関する JROAD 研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター 心臓血管内科 藤野 雅史

【研究の内容】本研究の目的は、循環器疾患実態調査(JROAD)による全国規模のDPC (Diagnosis Procedure Combination；診断群分類包括評価) データを使用し、急性心膜炎の診療像・予後ならびに薬物・侵襲的手技の効果を明らかにすることです。その結果により急性心膜炎に対する適切な検査・治療の質の向上に繋がるものと期待され、研究対象者と同じ病気を有する患者にとって利益や恩恵を与えられる可能性があります。ただし、研究対象者にとって直接的な利益はありません。

【利用する診療情報】参加施設から日本循環器学会循環器疾患実態調査へ提供された以下の情報
年齢、性別、病因、発症日、入院日、入院経路、主病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名、併存症、入院中および外来時の検査(心電図、心エコー図、CT、MRI、冠動脈造影検査、ウイルス抗体価)の有無、心嚢穿刺の有無、心嚢ドレナージの有無、心膜切開術の有無、補助循環サポートデバイス(IABP、PCPS、インペラ)使用の有無、処方・点滴の内容とその量、検査・手術の実施日、合併症(心タンポナーデ、心不全、薬物治療(NSAIDs、コルヒチン、ステロイド)による合併症(腎障害、肝障害、横紋筋融解症))の有無、院内死亡の有無、在院日数、退院時転帰、搬送方法、心膜炎再発による再入院などの情報

【情報の管理責任者】国立循環器病研究センター 理事長

【研究期間】研究許可日より2029年3月31日まで(予定)

【個人情報の取り扱い】本研究は個人情報を扱いません。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 相川 裕彦
電話 06-6170-1070(代表)